

地域包括支援センター

シリーズ

その3

高齢者を地域の みんなで見守ろう!!



健康福祉課地域包括支援センター ☎ 25 1 1 8 2

全国的に高齢化が進んでおり、市においても3〜4人が一人が高齢者という状況にあります。

このようなことが起こらないよう地域全体で高齢者を見守っていきましょう。

高齢になると病気やけがの不安が増え、詐欺や犯罪に巻き込まれるなどの危険も増えてきます。

このような不安や危険から外出することが少なくなり、また、外出しないことによつて他人と話をすることも少なくなり、刺激が少なく、認知症になる可能性も高くなつてきます。自宅内に閉じこもりがちになり、地域の目から見えなくなつてきます。

地域で過ごしている高齢者の小さな変化に気付くことで孤立死などを防ぎ、高齢者を助けることができます。

生活の中で少し意識して高齢者の様子を見守るだけで構いません。普段から気にしているといつとも違うことや小さな「気付き」になることがあります。

何か小さなことでもいいのでいつもと違ったことがあれば地域包括支援センターにご連絡ください。
連絡いただいた場合は対象

小さな気付き

同じものをずっと着ている。

昼間でも雨戸がしまっている。



一人暮らしで、救急車を呼ぶことが多い。

病院への定期的な受診が必要なのに受診していない。



のかたの様子を確認させてもらい、必要に応じて福祉サービスの利用などを勧め支援します。
高齢者のかたが安心して住み慣れた鳥羽で生活できるように、地域の人みんなで見守っていきましょう。

急にやせた(または太った)。

最近、転倒・けが・事故にあった。



一方的に自分の事ばかり話す。

本人に妄想的な訴えが見られる。



急に話をしなくなった。

無力感・あきらめ・投げやりな様子になった。

家の中や周りが不衛生である。

見慣れない人が出入りしたり、見かけない車がとまっている。

近隣に食事や借金を求めてきた。

毎日、買い物に来ていたのに最近は来ない。

年金や収入があることが明らかだが、自由に使えるお金がないように見える。

